

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院内科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

出血性胃十二指腸潰瘍の再出血・予後不良因子の検討

2. 対象となる方

2012年3月～2018年12月の期間で、夜間・診療時間外に上部消化管出血疑いで当院救急外来を受診し、緊急内視鏡検査で出血性胃十二指腸潰瘍と診断された方

3. 研究の目的

高齢化社会が進み、心筋梗塞や脳梗塞予防のための抗血栓薬（血液サラサラの薬）や、変形性関節症や腰痛症に対する非ステロイド系抗炎症薬（痛み止め）が処方される機会が増加しています。胃潰瘍の主な原因とされてきたピロリ菌感染率は近年減少しており、抗血栓薬やNSAIDなどの薬剤性胃潰瘍が増加していくと予想されます。出血性胃潰瘍は多くの場合は内視鏡処置で止血されますが、ときに再出血を起こしたり、内視鏡で止血困難な症例があります。この研究は出血性胃十二指腸潰瘍と診断され、内視鏡処置を受けられた方のうち再出血や内視鏡で止血困難な症例の特徴を明らかにすることを目的としています。

4. 研究期間

2019年1月（倫理審査委員会承認後）～2019年2月28日（予定）

5. 研究に使用する情報の種類

患者診療情報等：年齢、性別、受診日、受診時のバイタルサイン、既往歴、内服薬の種類、ピロリ菌感染の有無、輸血の有無、内視鏡的止血法の種類、初回止血成功の有無、再出血の有無、血液検査データや内視鏡所見 等

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院内科 内視鏡内科 主任部長 中川昌浩

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院 内視鏡内科 中川昌浩